

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市児童館（非公募）
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成31年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 1,587,135人（前年度比 113.3%） 平成30年度 1,400,164人 平成29年度 1,439,375人 平成28年度 1,372,278人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 1,892,182 千円（1,874,805 千円）非公募館65館分 ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円）
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）
		《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。
6	利用者の声	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、救命救急訓練の全職員受講や毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	全館において、児童クラブ事業では、一人ひとりと丁寧に関り、年齢に応じた細やかな配慮をしたり、特別な支援の必要な子ども達へ丁寧に関わっている。様々な遊びを通して子どもの成長を増進し、子どもの自主的な活動への取り組みを援助している。学校や地域、関連施設との連携を取り、保護者との信頼関係を深め必要な支援を行うなど、子どもの安心安全な居場所作りに努めている。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

児童館における今日的課題に対する取組の強化に力を入れました。その一つが、いじめ対応です。昨年の職員研修でも取り上げましたが、より具体的成果として、「児童館いじめ予防と対応ハンドブック」を作成しました。市いじめ対策推進室の助言をいただきながら、児童厚生員の主体的な部会の中で、児童館における遊びの事例を踏まえて作成しました。

第7回児童館フェスタは、「それいけ！じどうかん みんなで遊ぼう！」と題して、宮城野区文化センターと福室市民センターを会場に1月に開催しました。小学生から高校生が各コーナーで“子どもスタッフ”として活躍し、主に区内から1,300名を超える来場がありました。フェスタをきっかけに、地域の児童館を訪れる親子もあり、区内合同事業の効果を還元することができました。

第4回児童館フォーラムは、「遊びが子どもをかえる・子どもが遊びをかえる」をテーマに2月に開催し、県内外から200名以上の児童厚生員が集いました。日々の子どもたちとの関わりの中で、子どもにとっての遊びについて、その意味や児童館の役割について、より今日的に実践的に考える機会となりました。

以上のように、児童館を取り巻く課題や社会的ニーズを踏まえて、団体として包括的な取組を行い、児童館事業の充実に向けた各館の取組に寄与できたと評価しています。

2月下旬以降のコロナ禍においては、国や仙台市からの留意事項を踏まえての具体例を各館に示し、適切な対応を行いました。また、手指消毒液やハンドソープ等の消毒用品をいち早く発注して全館に配布するとともに、マスクについては各館の在庫量を調査し、近隣館で融通し合うなどして、品不足の状況の中でも組織全体で感染予防に努めました。

今後の状況が見通せない中ですが、感染予防に最大限に努めながら、社会状況を踏まえつつ、それぞれの地域特性に応じた児童館事業を展開してまいります。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

施設の管理運営については、指定管理者が策定した全館共通の各種マニュアル等に基づき適切に行われ、いずれの館も必要な水準を満たしている。施設や設備の維持管理も日々確実に実行されており、利用者が安全安心かつ快適に過ごせる環境を整えている。また、各種研修の実施により、職員の研鑽を重ねている他、利用者アンケートや運営委員会等で得た意見を運営に生かし、児童館運営の質の向上に努めている。

児童健全育成事業では、各児童館において、地域人材や周辺環境などの資源を有効に活用し、積極的に様々な事業を展開している。運動遊び、自然体験、社会体験、近隣の施設との連携事業等を通して、地域交流や世代間交流を図り、様々な体験を通して子ども達が心身ともに豊かに成長できる機会を多く作っている。小学生に限らず、中学校や高校とも積極的に交流を図り、地域の子どもにとって居心地の良い活動場所となるよう努めている。

子育て家庭支援事業では、様々な行事や日々の利用を通して、乳幼児の情緒や健康な身体への発達を促すとともに、保護者同士の交流や情報提供、相談の場などを提供している。また、子育て支援施設、地域の諸団体、行政機関等と連携し、子育て家庭を見守る支援ネットワークの構築に取り組んでいる。

いずれの館においても、全ての事業について安定したサービスを提供しつつ、新規利用者の増加や利用者の満足度向上に向けて、常に新たな行事等の検討や課題点の改善などに取り組んでいる。今後も、それぞれの地域特性や子どもの興味関心を捉えた日常プログラムや行事の展開など、更なる児童館事業の充実が期待できる。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課